

令和5年度第5回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会会議概要

- 1 日 時 令和6年1月29日（月） 10時00分～11時15分
- 2 場 所 鹿児島市役所 本館講堂
- 3 出席者 鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会委員18名
- 4 会次第
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ①第9期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画案について
 - ②介護保険給付費等の見込みについて
 - (3) 閉会
- 5 審議の概要

○議事資料1

【認知症高齢者について】

- ・P10日常生活自立度の記載について、障害と認知症とあるので、明記した方がいいのではないかと。
- ⇒違いがわかるよう修正する。

【介護保険施設について】

- ・P34に介護サービス施設とあるが、介護保険施設のことではないのか。
- ⇒介護保険施設に統一する。

【介護療養型医療施設について】

- ・P71、105に介護療養型医療施設の記載があるが、第9期計画以降（令和6年以降）は、なくなるのではないかと。
- ⇒削除漏れのため、修正する。

【認知症相談窓口の認知度について】

- ・P48の認知症に関する相談窓口の認知度が低い現状というのは、鹿児島のことか、全国的にそうなのか。
- ⇒昨年度実施した高齢者実態調査を基にした本市の現状である。全国的な状況の把握や他都市との比較はできていない。

【認知症への理解について】

- ・今後、認知症についてより多くの人に理解してもらうためには、教育現場などで子供たちにお年寄りへの接し方や高齢化について、教育の取組をしていただきたい。
- ⇒市としても学校教育の場で子供たち認知症への理解について学習をしていきたいと考えており、総合学習の時間など、カリキュラムに盛り込んでいただくよう、教育委員会に依頼を行ったところである。

【お達者クラブとよかよか元気クラブについて】

- ・P74の見込について、お達者クラブは変動がないのに対して、よかよか元気クラブは毎年50人ぐらい増えているが、その原因と算出根拠は。
- ⇒国が令和7年度までに高齢者の8%が通いの場に参加することを目標として掲げており、本市においては、お達者クラブが横ばいでよかよか元気クラブは毎年増えているため、それらの事情を勘案して算出したとことである。

・よかよか元気クラブのクラブ数が増えるということか。

⇒参加者数が増えてきている。

・よかよか元気クラブの活動主体はどこになるのか。

⇒お達者クラブが活動推進委員を中心に活動を行うのに対し、住民が主体となって、よかよか体操などの健康づくり活動を行っている。

【介護保険料について】

・第7期から第8期になるときに、保険料の変更はなかったが、第9期計画では保険給付費が増える見込みのようだが、保険料はどうなるのか。

⇒保険料については、第6編が基礎資料となり算出するが、今後議会を経て発表することになるので、この場での回答は控えさせていただく。

【高齢者の生きがいについて】

・介護状態になる前の取組が大事だと思うので、第5編の第1章や第4章に記載のある生きがい支援や介護予防の取組を進めていただきたい。

【他部署との連携について】

・今回策定するこの計画については、地域のコミュニティ協議会等にも情報がいきわたるように、地域づくり推進課等とも連携していただきたい。

【認知症サポーターについて】

・認知症サポーター養成講座の参加者を増やすため開催場所や開催回数を増やしたりはしないのか。近くで開催されると出席しやすい。

⇒サポーター養成講座は年5回開催しており、その他にも出前講座等も行っている。

ぜひ、出前講座を利用していただきたいので、周知してまいりたい。